

245 土方寧・藤田隆三郎・増島六一郎・岡山兼吉・穂積陳

重・植村俊平・金子堅太郎・松野貞一郎他五名進退の件

(明治二十年)

明治廿年一月ヨリ同十二月ニ至ル一年間ニ於ル内外教員ノ進退  
ヲ左ニ叙次ス

内国人ノ部

明治廿年三月廿八日外務省取調局長兼翻訳局長兼法科大学教授  
鳩山和夫大蔵省国債局長兼法科大学教授田尻稻次郎□学ノ兼任  
ヲ免セラル

同三月三十日外務省取調局長兼翻訳局長鳩山和夫及大蔵省国債  
局長田尻稻次郎ニ本学年中従前囑托ノ残務ヲ以テ法科大学学生  
授業ヲ囑托ス

同六月十四日植村俊平法科大学助教授ニ任セラル

同六月廿四日法科大学助教授土方寧欧州留学ヲ命セラル

同七月廿日藤田隆三郎松野貞一郎増島六一郎及岡山兼吉ニ民事  
刑事ノ訴訟演習ヲ囑托セラル

同九月七日元老院議官加藤弘之ニ法理学ノ講義ヲ内閣総理大臣  
秘書官金子堅太郎ニ日本行政法ノ講義ヲ何レモ来学年中囑托セ  
ラル

同九月廿八日法科大学教授和田垣謙三文官試験局書記官ニ転任  
ス

同十月四日文官試験局書記官和田垣謙三法科大学教授ニ兼任セラル

同十二月廿八日法科大学教授兼法科大学教頭穂積陳重兼官ヲ免セラレ同日外務省取調局長兼翻訳局長鳩山和夫法科大学教授法科大学教頭ニ兼任セララル

(外国人ノ部)

明治廿年三月五日招聘ニ由リテ来航セル普国人エツゲルトヲ法科大学財政学理財学ノ教師トス

〔(文部省往)復〕明治二十一年報告(Ⓐ82)